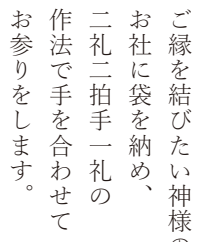




お参りの手順

そんな願いから、きつと、もつと、いいご縁を。

あなただけの「いいご縁」を。



※両替は授与所にて承ります。

もよい縁を

明るく清らかで素直な心で、みなさまの毎日がきっといいご縁で結ばれますように。





大切な人と出会いたい。

人との関係を円満に、
穏やかに過ごしたい。

A.本殿 B.二宮 / 縁結びの神様

ご祭神：伊弉冉尊(いざなみのみこと)・伊弉諾尊(いざなぎのみこと)

日本で初めてプロポーズをして結ばれた夫婦の神様。
想いを寄せる人と結ばれたい方は本殿、二宮の男女の
神様にお参りを。なにより素直な心を大切に。

今の自分よりも前へ。

自分を磨いて勉強や仕事で
成功をおさめたい。

G.厳島神社 / 芸事上達・財の神様

ご祭神：市杵島姫命(いちきしまひめのみこと)

別名を弁才天(べんざいてん)といわれ、財をつかさ
どり、芸事上達の神様として知られています。自分
自身をスキルアップさせたい方はこちらにお参りを。

日々の生きがいとの出会い。

迷い立ち止まっている方へ。

L.幸神社 / 導き・交通安全の神様

ご祭神：猿田彦神(さるたひこのかみ)

自分自身に迷いが生じたときや自身を失ったとき、
猿田彦神は、自分の進むべき道を正しく導いてくれる。
そんな、みちびきの神様として信仰されています。

C.三羽のうさぎ / 縁結びの使者

本殿裏に隠し彫りされた三羽のうさぎ。三羽全て見つ
けると幸せになれる、良縁に恵まれると伝わります。
あなたの想いを運んでくれる縁結びの使者です。

D.八幡神社 / 技芸上達・仕事運向上の神様

ご祭神：応神天皇(おうじんてんのう)

文武ともに優れたことから、技芸上達や仕事に関わる
神様です。新しいプロジェクトや仕事に関わる新しい
チャレンジを後押ししてくれます。

K.月山神社 / 時読みの神様

ご祭神：月読命(つきよみのみこと)

月の満ち欠けを読む、暦に関わる神様。農耕の適した
タイミングを示してくれるように、人生で事にあたる
最良の時期を示してくれる神様です。

H.白山神社 / 縁結び・良縁の神様

ご祭神：菊理姫神(くくりひめのかみ)

神様同士の口論を仲裁した神様。いつも側で見守っ
てくれる人を大切に。そうすれば自然と自分に素敵な
ご縁が訪れるはずです。

E.菅原神社 / 立身出世・学問の神様・厄災除けの神様

ご祭神：菅原道真公(すがわらのみちざねこう)

とりわけ学問に秀でたことから、立身出世、学問の
神様として信仰されています。自身の学識を深めたい
方や受験を控えた方の力になってくれる神様です。

I.和光神社 / 土台固めの神様

ご祭神：豊斟渟神(とよくぬのかみ)

大地を固め土壌を育成した神様。悩みや迷いで自分に
自信が持てないとき、豊斟渟神にお参りしてみても。
自身の心の曇りがはれるはずです。



家族みんなの無事を願いたい。

安定した毎日を過ごしたい。

H.白山神社 / 家内安全の神様

ご祭神：菊理姫神(くくりひめのかみ)

伊弉諾尊と伊弉冉尊の口論を仲裁した白山神社の
神様。二柱の神様を無事に仲直りさせたことから、
家内安全の守り神としても信仰されています。

新しい生命と出会いたい。

生き活きた生命力を
授かりたい。

N.大宮子易神社 / 安産・子授けの神様

ご祭神：木花開耶姫命(このはなさくやひめのみこと)

その昔、炎の中で御子を出産したと伝わります。今で
は、無事に生命を誕生させてくれる安産の神様として
信仰されています。

日々、健やかに過ごしたい。

健康で無事な毎日を。

J.招魂社

ご祭神：護国の英霊

国に殉じた英霊をお祀りする招魂社。毎日健康で過ご
せることに感謝の心をもって英霊にお参りください。
ご参拝の皆さんをしっかりと守ってくれるはずです。

F.皇大神社 / 日本国の総氏神様

ご祭神：天照大御神(あまてらすおおみかみ)

伊勢の神宮、内宮にお祀りされている神様です。
日本国民すべての守り神で、ご家庭の安定を守って
くれています。

A.本殿 B.二宮 / 子授け・安産の神様

ご祭神：伊弉冉尊(いざなみのみこと)・伊弉諾尊(いざなぎのみこと)

ご縁を結ぶ神様であると同時に新しい命を生みだし、
育んでくれる神様。その生命を司る、不思議な力は
「むすひ」という言葉で今に伝わっています。

F.皇大神社 / 日本国の総氏神様

ご祭神：天照大御神(あまてらすおおみかみ)

日本のすべての国民を守ってくれる神様。
いつまでもみんなが安らかに、穏やかに過ごせるよう
守ってくれる日本国の総氏神様です。

自分の干支の守り神

私たちは生まれつき干支が定まりますが、仏教では干支ごとに守り本尊が定まっています。
昔、神仏習合という神様と仏様が一緒の時代があり、現在はその名残で、守り本尊が干支の守り神として神社に祀られています。
ご自身の守り神に目をむけて、感謝のお参りをしてみませんか。

